



第二次 川越市観光振興計画

— 小江戸川越再発見プラン —

概要版





目的

川越市は、埼玉県南西部に位置し、新河岸川の舟運や川越街道を通じた江戸との交流により発展してきました。蔵造りの町並みや時の鐘などの歴史的な観光資源に恵まれ、都心からのアクセスも良いことから、毎年多くの観光客が本市を訪れています。

このような中、本市では、平成20（2008）年に「川越市観光振興計画」を策定し、「住んでよし、訪れてよし」の観光まちづくりの基本理念の下、関係機関等と連携し、観光誘客施策や観光拠点の整備等に取り組んできました。

平成32（2020）年には、東京オリンピックのゴルフ競技が市内にある霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催される予定です。東京オリンピック開催を契機に、今後、外国人観光客の増加が予想される中で、受入環境の整備をはじめとしたインバウンド施策により重点的な取り組みが必要となります。さらに、観光客の滞在時間の延長や広域観光の推進といった課題にも、引き続き取り組んでいく必要があります。

このような社会経済情勢の変化や本市の観光における課題を踏まえ、「第四次川越市総合計画」における観光施策を計画的かつ具体的に推進していくために、新たに「第二次川越市観光振興計画～小江戸川越再発見プラン～」を策定しました。



蔵造りの町並み



霞ヶ関カンツリー倶楽部
東京オリンピック・ゴルフ競技会場（予定）



計画期間

第二次川越市観光振興計画の計画期間は、10か年（平成28（2016）年度～平成37（2025）年度）とします。ただし、10年先を見据えた将来展望のもと、平成32（2020年）年度までの5年間に重点的に推進する施策を位置づけます。

川越市観光振興計画（平成19年度～平成28年度の10年間）

「住んでよし、訪れてよし」の観光まちづくり



第二次川越市観光振興計画（平成28年度～平成37年度の10年間）

世界に発信しよう！ EDOが粋（いき）づくまち 小江戸川越



現状と課題

観光の現状

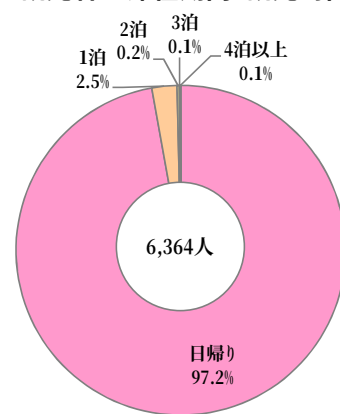
- 市民が気づいていない、観光客にも知られていない観光資源が残っている
- 日帰り観光客がほとんどで、宿泊観光客が少なく、滞在時間が短い
- 交通の安全性の向上など、観光環境に関する要望が多い
- 東京オリンピックに向け、外国人観光客のさらなる増加が予想されている
- 観光と市民の関わりがあまり見られない

＜過去5年間における観光客数の推移＞

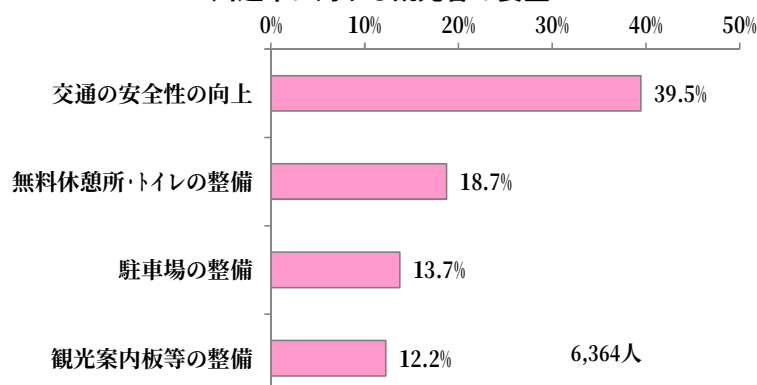
	観光客数	外国人観光客数
H23年	602.7 万人	2.5 万人
H24年	623.7 万人	4.6 万人
H25年	630.2 万人	4.5 万人
H26年	657.9 万人	7.7 万人
H27年	664.5 万人	11.9万人

資料：川越市入込観光客数（H27年）

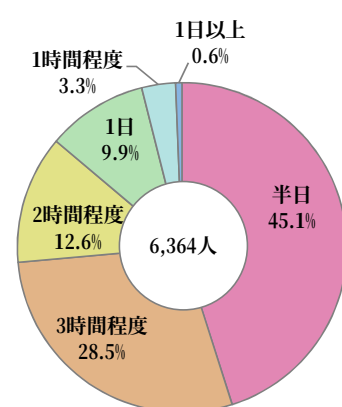
＜観光客の滞在期間・観光時間＞



＜川越市に対する観光客の要望＞



資料：川越市観光アンケート調査（H26年）



資料：川越市観光アンケート調査（H26年）

観光の課題

観光資源の発掘、魅力の向上

観光客の滞在時間の延長、観光周遊エリアの拡大

観光環境の整備

観光客の誘致促進のための工夫、外国人観光客への対応

他地域にわたる広域的なネットワークの構築

市民参加・地域協働の視点



基本理念

本計画において、具体的に取り組む施策の基本理念を、以下のとおり定めます。
本計画の推進により、「市民が誇りをもてるまち、市民が住み続けたいと思える魅力あるまち」の実現を目指します。

**世界に発信しよう！
EDOが粋（いき）づくまち 小江戸川越**



基本方針

本計画の実現に向けた基本方針を次のように定めます。

基本方針① 新たな観光を創りだそう

農業、商業、工業との連携を軸に、歴史や伝統文化を生かし、観光資源の発掘・磨き上げ等により観光地の魅力及び質の向上を推進します。

基本方針② 外国人が一人でも楽しめる川越を演出しよう

日本人はもとより、外国人が気軽に川越を訪れ、自由にまち歩きを楽しむことができるような町を演出するとともに、国内外へ向けた情報発信力の強化を図ります。また、東京オリンピックの開催を契機にインバウンド事業を推進し、外国人観光客に対してやさしい観光まちづくりを目指します。

基本方針③ 安心して観光を楽しめる環境を作ろう

川越の観光を安心して楽しんでもらえる環境を整備するため、ハードとソフトの両面から受入環境の向上を推進します。また、次世代の観光を担う人材の育成を推進します。

受入環境の整備に要する資金について、「川越市みんなで支える観光基金」を活用します。

基本方針④ 市民の視点で観光まちづくりを進めよう

市民が観光事業に関わり、そして楽しめるように、市民参加による協働の観光まちづくりを推進し、住むことに誇りを持ち、住み続けたいと思える魅力あるまちの実現を図ります。また、地域間で連携して、新たなサービスや魅力を生み出すことを目指し、地域連携ネットワークを強化します。



観光施策

1 新たな観光を創りだそう

具体的政策

- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) 観光資源の発掘・磨き上げ | (5) 旅行会社、交通事業者との共同企画の開発 |
| (2) 新たな観光への取組 | (6) 観光エリアの拡大 |
| (3) 観光と他産業との連携 | (7) 他地域との連携による観光誘客 |
| (4) 教育機関との連携 | |



小江戸川越ハーフマラソン

重点的に進める施策

①市内及び川越ゆかりの地の観光資源の調査分析

観光客のニーズが多様化している中で、幅広い客層の観光客を誘致するため、地域特有の資源、生活文化、食文化などに目を向け、多様な観光資源を発掘し、磨き上げを行うための調査分析を行います。

②コンベンション誘致の推進

③若者を呼び込むための仕掛けづくり

地域における交流人口の増加を促すため、コンベンションの誘致や若者を呼び込むための仕掛けづくりなど、新しい誘客手法にも目を向けます。



川越氷川神社 緑むすび風鈴

2 外国人が一人でも楽しめる川越を演出しよう

具体的政策

- (1) 東京オリンピックを契機とした情報発信
- (2) 外国人観光客を温かい気持ちで迎える観光まちづくり
- (3) 伝統文化の発信による観光誘客
- (4) 誰もが利用しやすい観光案内サービスの推進

重点的に進める施策

①外国人観光客に向けた情報発信

外国人観光客をさらに誘客していくため、SNS等を活用した効果的な情報発信により、本市の認知度を高めていきます。

②外国人観光客への接遇の向上 ③外国人観光客の受入環境の整備

④観光施設の多言語化 ⑤文化の違いへの対応 ⑥観光ガイドの育成

観光施設における外国語対応や観光案内所の多言語対応などにより、外国人が迷わず安心して市内の観光地を楽しむことができるような環境づくりを進めます。さらに、多様な生活習慣を有する外国人観光客への対応や外国人観光客のニーズに対応した人材育成、受入環境整備に関連する施策に重点的に取り組みます。



観光マップの多言語化



旅行博における観光PR



観光施策

3 安心して観光を楽しめる環境を作ろう

具体的政策

- | | |
|--------------------|---------------|
| (1) 快適なまち歩き空間の創出 | (5) リピーターを増やす |
| (2) 安全かつ円滑なまち歩きの実現 | 仕掛けづくり |
| (3) 快適な観光インフラ整備 | (6) 観光キーマンの育成 |
| (4) 滞在型観光の推進 | (7) 伝統の担い手の育成 |



川越市自転車シェアリング

重点的に進める施策

①一番街周辺の交通円滑化方策の検討

観光客が安全で安心して、快適にまち歩きを楽しめる環境づくりを進めるため、一番街周辺における歩行者の交通安全対策などの施策に重点的に取り組みます。

②夜の観光の推進 ③宿泊観光の推進

観光客の滞在時間の延長を図るため、ライトアップや夜の観光ツアーなどの夜の観光施策、宿泊観光の推進に取り組みます。



食と音と灯りの融合
Kawagoe REMIX

4 市民の視点で観光まちづくりを進めよう

具体的政策

- (1) 市民発・市民参加型の観光振興
- (2) まち全体で取り組む受入環境の整備
- (3) 情報発信の戦略検討

重点的に進める施策

- ①市民参加型観光事業の実施
- ②市民からの情報発信
- ③観光客と市民の交流の場の提供

市民が観光に関わり、自らも観光を楽しめる環境づくりを進めることで、市民が住んでいるまちのことを知り、住んでいるまちに対して愛着と誇りを持てるようになるものと考えられます。市民が観光行政に関わることで施策等を推進するだけでなく、自分たちの街に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、市民参加型の観光を推進します。



一般対象の「おもてなし英会話」



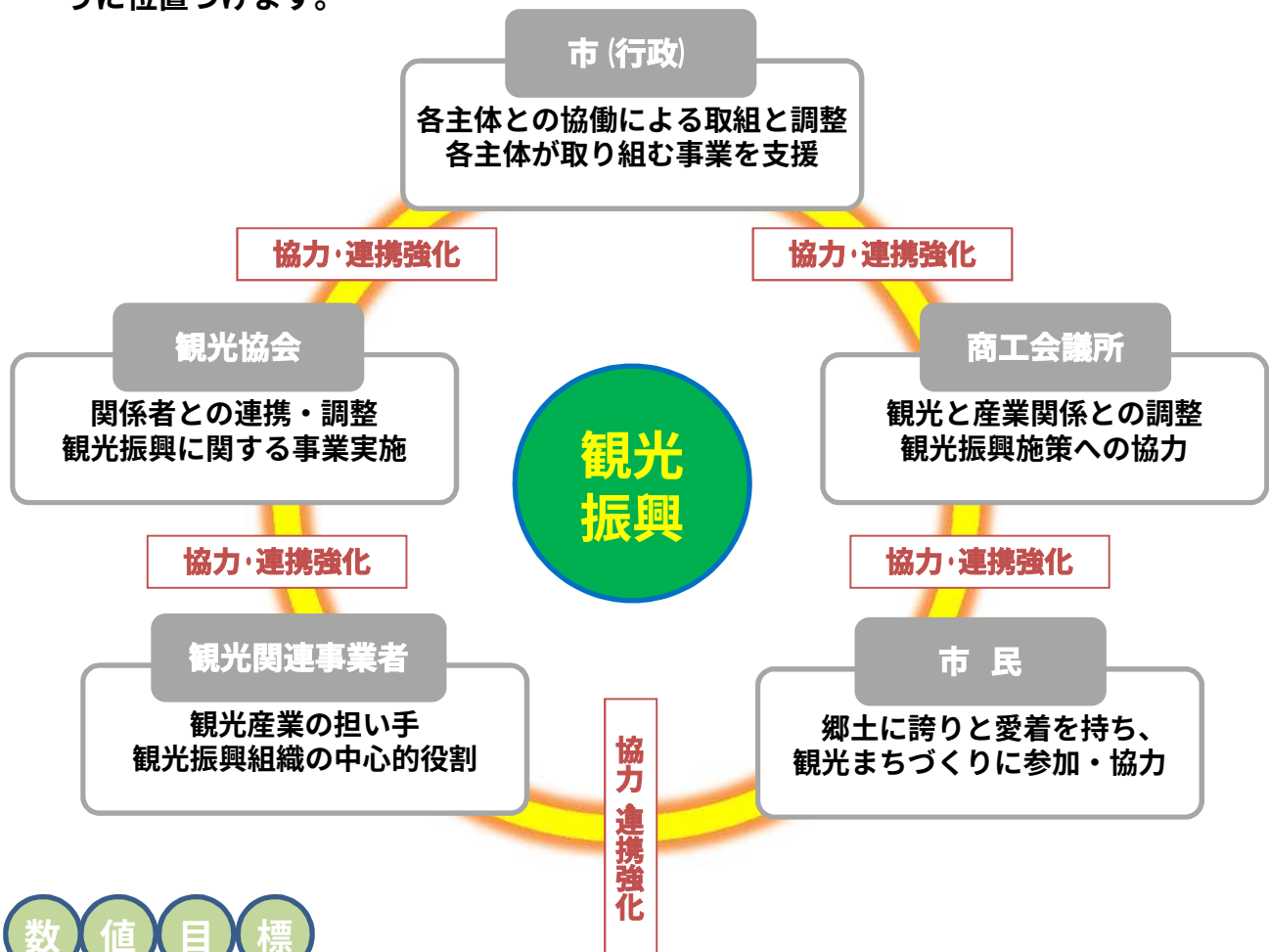
市内ロケの誘致による
シティブロモーション



推進体制

観光振興の推進は、行政だけでは対応できるものではなく、市、観光協会、商工会議所をはじめとした観光関連団体、市民が各々の役割を認識し、各主体間における協働と連携による取組を進めていく必要があります。

このため、本計画を推進するにあたり、市の役割と各主体に期待する役割を次のように位置づけます。



数 値 目 標

指 標	平成26年 (基準値)	平成32年 (目標値)	平成37年 (目標値)
観光客数	657.9万人	720万人	750万人
観光客のリピーターの割合	46.3%	50.0%	60.0%
外国人観光客数の割合	1.1%	2.5%	3.0%
観光時間半日以上の観光客割合	55.6%	60.0%	65.0%
宿泊観光客割合	2.8%	3.5%	4.0%
観光地立ち寄り箇所	4.4箇所	6箇所	8箇所
平均観光消費額	4,166円	5,000円	5,200円
市民の観光に対する重要度 ※川越市市民満足度調査の結果による。	全体の 平均値未満	全体の 平均値以上	全体の 平均値以上



第二次川越市観光振興計画の詳しい内容は、川越市公式 HP をご覧ください
<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>

発行：川越市役所 産業観光部 観光課
〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1
TEL：049-224-5940（直通） FAX：049-224-8712
E-Mail：kanko@city.kawagoe.saitama.jp

